

## 令和3年度 第2回伊勢原市都市計画審議会 会議録

〔事務局〕 都市政策課

〔開催日時〕 令和4年2月15日(火曜日)

〔開催場所〕 書面開催

〔出席者〕

(委員) 梶田会長、高橋副会長、遠藤委員、鈴木委員、大谷委員、  
町田委員、木村委員、菅原委員、八島委員、安藤委員、大垣委員、  
渡辺委員、久保委員、植松委員、大川委員、魚見委員 計16名

(事務局) ー

〔公開の可否〕 公開

〔傍聴者〕 書面開催につき、なし

〔議題〕

【議案第1号】伊勢原都市計画下水道

伊勢原第3号公共下水道の変更について

【報告事項】伊勢原市緑の基本計画骨子案について

〔送付資料〕

令和3年度第2回伊勢原市都市計画審議会について(通知)

別紙1 書面開催の進め方について

別紙2 表決書

資料1 伊勢原都市計画下水道 伊勢原第3号公共下水道の変更

資料2 伊勢原市緑の基本計画骨子案

《 意 見 》

1 議案第1号 伊勢原都市計画下水道 伊勢原第3号公共下水道の変更 への意見について

No	意 見	考え方
1	雨水矢羽根第1-1 幹線の拡幅改修工事など、取組を期待します。	雨水矢羽根1-1 幹線については、今回の都市計画変更により、幹線表記が削除されますが、引き続き、公共下水道事業計画に基づき、計画的な拡幅改修工事の実施に努めてまいります。
2	今後、必要に応じて、現地視察などの実施検討も必要であると考えます。	審議内容に応じて、写真などを多く用いた資料作成や現地視察を実施するなど、わかりやすい説明に努めてまいります。

2 報告事項 伊勢原市緑の基本計画骨子案 への意見について

No	意 見	考え方
1	マスタープランとしては、わかりやすいが、防災に関連する内容を更に充実させていく必要があると考えます。また、適宜（3年くらい）、計画のローリングが必要であると考えます。	改定計画において、防災に関する事項を含め、内容等の更なる充実に努めていきます。また、計画には、計画期間と合わせて、見直しの時期等の考え方について、整理していきます。
2	第6章 伊勢原市の緑の特性と課題中、3 緑の特性・役割からみた課題において、生産緑地に関する整理が必要であると考えます。	市街地において多目的保留地機能を有する生産緑地は、都市環境の保全等において一定の役割を果たすものと考えています。改定計画において、本市における生産緑地に関する課題等がわかるよう、整理していきます。
3	第8章 緑の配置方針の内容が明らかにされないと、計画骨子の妥当性が判断できないと考えます。	次回審議会において、御指摘の部分を含め改定案をお示しし、御意見をいただきたいと思います。

No	意見	考え方
4	現計画を更に発展させるために、「紡ぐ」、「仕組み」を考えると来ていると思います。例として、ライフサイクルに合わせた環境整備（人・ボランティアの育成、人・農地プランとの繋がり、食の安全安心など）が必要であると考えます。	本市の特徴である、農地などの緑に囲まれた市街地形成を踏まえるとともに、市民生活との関わりなども考慮し、改定計画を策定したいと考えています。
5	伊勢原市の山、農地の緑が市民から親しまれていることがわかりました。緑が有する防災機能の評価についても理解できます。緑の有するレクリエーション機能を観光振興や市民の健康づくり等につなげていくことも大切であると考えます。	緑の有する多様な機能を評価し、その効用が市民生活全般に寄与するよう、緑の配置方針や緑地の保全及び緑化の推進施策等について、整理したいと考えています。
6	生産緑地法の2022年問題に対応したみどり（農地）の課題、生態系ネットワークの視点からの緑のあり方、また、鳥獣害問題についても、整理していくことが求められると考えます。	緑を取り巻く様々な課題やその対応等について、本市の状況等に照らしながら、計画への位置づけを検討してまいります。

### 3 その他

No	意見	考え方
1	市民アンケート結果において、市全域における緑の量の満足度が低い割合が多いと感じています。	今後、更に緑の満足度が高まるよう、改定計画において、緑地の保全及び緑化の推進施策等について、位置付けていきたいと考えています。

以上